SoftBank

お願いとご注意

― 重要なお知らせ ―

SoftBank 201K

2013年1月第1版発行　ソフトバンクモバイル株式会社
製造元:京セラ株式会社
KZ001998XX-　0113SZ

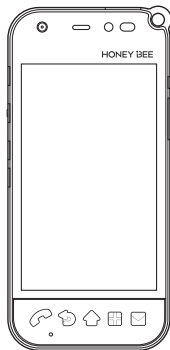
はじめに

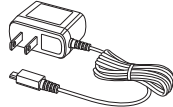
このたびは、SoftBank 201Kをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

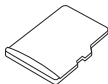
- SoftBank 201Kをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- 本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
- SoftBank 201Kは、4G方式、3G方式、GSM方式に対応しております。

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたらお問い合わせ先(P.58)までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

お買い上げ品の確認

201K本体

電池パック（KYBAB1）

ACアダプタ（KYCAA1）

microSDメモリカード（試供品）

クイックスタート

お願いとご注意（本書）

保証書（本体、ACアダプタ）

- 付属品／その他オプション品につきましては、最寄りのソフトバンクショップまたはお問い合わせ先(P.58)までご連絡ください。
- 本書では、201K本体を「本機」と記載いたします。
- 本書では、microSD™メモリカード／microSDHC™メモリカード／microSDXC™メモリカードを、以降「SDカード」と記載いたします。お買い上げ時、SDカードは本機に取り付けられています。

マナーとルールを守り安全に使用しましょう

⚠ こんな使いかたはやめましょう

本機をご利用になるときに、誤った使いかたをするとけがや故障の原因となります。

分解・改造

分解や改造をしないでください。

無理な取り付け

電池パックやACアダプタ、USBケーブル(オプション品)をうまく取り付けられないときは、取り付ける向きを確かめてください。

外部接続端子の接触禁止

外部接続端子に金属などを触れさせないようにしてください。

指定品以外の使用

本機に使用する機器は、当社の指定品以外のものは使用しないでください。

加熱の禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に本機や電池パックを入れて加熱しないでください。

運転中

自動車運転中のご使用は危険なため、法律で禁止されています。車を安全なところに停車させてからご使用ください。

⚠ こんな場所では電源を切りましょう

航空機内

航空機内でのご使用は罰せられることがあります。本機の電源をお切りください。
機内で本機が使用できる場合は、航空会社の客室乗務員の指示に従い適切にご使用ください。

病院内

病院など医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従いましょう。

満員電車など

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいると、動作に悪影響を与えることがあります。

映画館・劇場・美術館など公共の場所

静かにすべき公共の場所で本機を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

マナーを守るための便利な機能

■ マナーモード

電話がかかってきたときなどに、着信音を鳴らさずに振動でお知らせします。

■ 簡易留守録

電話に出られないとき、相手のメッセージを本機に録音します。

■ 機内モード

電源を入れたまま、電波の送受信だけを停止します。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

表示の説明

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。
内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷※2を負う可能性が想定される場合および物的損害※3のみの発生が想定される」内容です。

※1 重傷とは失明、けが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをいう。
※2 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをいう。
※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指す。

絵表示の説明

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示します。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

本機、電池パック、USIMカード、ACアダプタ、USBケーブル(オプション品)、SDカード(試供品)の取り扱いについて(共通)

⚠危険

指示

本機に使用する電池パック・ACアダプタ・USBケーブルは、ソフトバンクが指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、ACアダプタ・USBケーブルの発熱・発火・故障などの原因となります。

分解禁止

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。
火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。本機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。

禁止

高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で充電・使用・放置しないでください。また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所(こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など)においても同様の危険がありますので、充電・放置・使用・携帯しないでください。
機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

禁止

本機に電池パックを取り付けたり、ACアダプタ・USBケーブルを接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わないでください。
電池パックや端子の向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

⚠警告

禁止

本機・電池パック・ACアダプタ・USBケーブルを、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機・ACアダプタ・USBケーブルの発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

指示

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。
ガスに引火する恐れがあります。ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®対応携帯電話をご利用になる際は、電源を切った状態で使用してください。（おサイフケータイロックが設定されている場合は、ロックを解除した上で電源をお切りください。）

禁止

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。

1. コンセントからACアダプタを持ってプラグを抜いてください。
2. 本機の電源を切ってください。
3. やけどやけがに注意して、電池パックを取り外してください。

異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

禁止

本機が濡れている状態で充電しないでください。
感電や電子回路のショートなどによる故障・火災の原因となります。水濡れのときの充電による故障は、保証の対象外となり修理ができません。

水濡れ禁止

本機は防水性能を有する機種ですが、万一、水などの液体が外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップ、電池カバーなどから本体内部に入った場合には、使用をおやめください。
そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。

禁止

3.5mmイヤホン端子や外部接続端子に水やペットの尿などの液体や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障などの原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落下して、けがや故障などの原因となります。バイブレータ設定中や充電中は、特にご注意ください。

禁止

外部から電源が供給されている状態の本機・電池パック・ACアダプタ・USBケーブルに長時間触れないでください。
低温やけどの原因となります。

禁止

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。
故障による内部データの消失の原因となります。

水濡れ禁止

湿気の多い場所で使用しないでください。
身に着けている場合は汗による湿気が故障の原因となる場合があります。水漏れや湿気による故障と判明した場合は保証の対象外となり、修理ができません。

指示

乳幼児の手の届かない場所やペットが触れない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

電池パックの取り扱いについて

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止 **電池パックの(+)と(−)をショートさせないでください。**
破裂・発火・発熱の原因となります。

禁止 **電池パックを本機に接続するときは、(+)(−)を逆にしないでください。**
破裂・発火・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理せず接続部を十分にご確認ください。

禁止 **火の中に投下しないでください。**
電池パックを漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。

禁止 **釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。**
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

禁止 **電池パックの端子に、針金などの金属類を接触させないでください。また、導電性異物(鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど)と一緒に電池パックを持ち運んだり保管したりしないでください。**
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

指示 **電池パック内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。**
失明などの原因となります。

濡れ手禁止 **濡れた手での使用は絶対にしないでください。**
発熱・感電・火災・故障などの原因となります。

⚠警告

水濡れ禁止 **電池パックは防水性能を有しておりません。**
電池パックを水や海水、ペットの尿などで濡らさないでください。また濡れた電池パックは充電しないでください。電池パックが濡れると発熱・破損・発火の原因となります。

指示 **電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。**
皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。

指示 **所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。**
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

指示 **電池パックの使用中・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して電池パックを取り外し、さらに火気から遠ざけてください。**
異常な状態のまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

指示 **ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。また、ペットが噛みついた電池パックは使用しないでください。**
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や機器の故障・火災の原因となります。

⚠注意

禁止 **不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。**
端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りの「ソフトバンクショップ」へお持ちください。電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

禁止 **電池パックに巻き付けてあるシールをはがさないでください。**
故障の原因となります。

禁止 **電池パックの取り付け/取り外しの際に無理な力を加えたり、無理に挿入しないでください。**
電池パックまたは電池カバーが破損するなどし、けがの原因となります。

本機の取り扱いについて

⚠危険

通話・メール・撮影・ゲーム・インターネットなどをするときや、ワンセグを視聴したり、音楽を聴くときは周囲の安全を確認してください。
安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。

イヤホンを使用するときは音量にご注意ください。
周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

⚠警告

本機は完全防水ではありません。
下記1～4および「防水性能について」(P.30)に記載されている内容を守らずにご使用になると、発火・発熱・傷害・感電・故障の原因となります。

1. 水中で使用(キー操作を含む)しないでください。
2. 常温の真水・水道水以外の液体に浸けないでください。
3. 規定(IPX5・IPX7)(P.30)を超える強い水流を当てたり、水中に長時間沈めたりしないでください。
4. 砂浜などの上に置かないでください。

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。
交通事故の原因となります。乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。
運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器・植込み型心臓ペースメーカ・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など

本機のディスプレイ部には強化ガラスを使用しています。落下等の衝撃や無理な力を加えると、破損する恐れがありますので、万一、破損してしまった場合は、破損箇所へは手や足などの身体の一部を触れないでください。
けがの原因となります。万一、破損してしまった場合はそのまま使用せず、ソフトバンクショップもしくはお問い合わせ先(P.58)までご連絡ください。

本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。
機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従い適切にご使用ください。

ワンセグ視聴時以外ではワンセグ用アンテナを収納してください。
ワンセグ用アンテナを引き出したままで通話などをすると顔などにあたり思わぬけがの原因となります。

心臓の弱い方は、着信時のバイブレーション(振動)や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える恐れがあります。

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。
落雷や感電の原因となります。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。また、ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様にライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。
視力低下などの傷害を起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。また、目がくらんだり、驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

本機が破損し、または本体内部が露出した場合、破損部および露出部に手を触れないでください。
感電したり、けがをすることがあります。そのまま使用せずソフトバンクショップもしくはお問い合わせ先(P.58)までご連絡ください。

禁止

暗い部屋で、画面の強い光や光の点滅を見つめないでください。
強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ていると、ごくまれに、筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある方は、事前に必ず医師と相談してください。

禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。
レンズの集光作用により、発火・火災の原因となります。

指示

通常は外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップ、電池カバーなどをはめた状態で使用してください。
キャップ類をはめずに使用していると、ほこり・水などが入り感電や電子回路のショートによる故障の原因となります。

⚠注意

分解禁止

改造された本機は絶対に使用しないでください。
改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。本機は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク㊜」が本機の銘板シールに表示されております。
本機のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

指示

受話口部・スピーカー部の吸着物にご注意ください。
受話口部・スピーカー部には磁石を使用しているため、画鋲やピン・カッターの刃、ホチキス針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、受話口部・スピーカー部に異物がないか必ず確かめてください。

禁止

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。
本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。

指示

本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。
本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。（使用材料：P.56）

禁止

本機に磁気カードなどを近づけたりしないでください。
キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止

ストラップなどを持って本機をふり回さないでください。
本人や周囲の人に当ったり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

指示

本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。
長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

指示

ワンセグを視聴するときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。
視力低下につながる可能性があります。

指示

イヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。
長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。

指示

本機は、周囲温度5℃～35℃（ただし、36℃～40℃であれば一時的な利用は可能です。）、湿度35％～90％の範囲で使用してください。
範囲を超える極端に暑い場所や寒い場所での使用による故障と判明した場合は保証による修理はできません。

指示

ディスプレイ部の保護シートははがしてからご使用ください。
貼ったまま使用するとけがの原因となります。また、はがすときも指などを切らないようご注意ください。

USIMカード、SDカード(試供品)の取り扱いについて

⚠注意

禁止 **USIMカードを折ったり、曲げたり、重いものを載せたりしないでください。**
故障の原因となります。

禁止 **USIMカードのIC(金属)部分に不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
データの消失や故障の原因となります。

禁止 **USIMカードのIC(金属)部分を傷つけないでください。**
故障の原因となります。

水濡れ禁止 **USIMカードを濡らさないでください。**
故障の原因となります。

禁止 **SDカードの取り付けの際、急に指を離したりせず、指定の方向に最後まで押し込んでください。**

禁止 **SDカードの取り外し、および取り付けを行う際は、必ず本機の電源を切った状態で行ってください。**
故障・内部データ消失の原因となります。

禁止 **SDカードを挿入状態から、無理に引き抜かないでください。**
故障・内部データ消失の原因となります。

禁止 **SDカードは、指定品以外を使用しないでください。**
故障・内部データ消失の原因となります。

ACアダプタ、USBケーブル(オプション品)の取り扱いについて

⚠警告

禁止 **充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。**
熱がこもって火災や故障などの原因となります。

禁止 **指定以外の電源・電圧で使用しないでください。**
指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。
ACアダプタ:AC100V~240V
(家庭用交流ACコンセント専用)
また、海外旅行用として、市販されている「変圧器」は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

電源プラグを抜く **長時間使用しない場合は、ACアダプタを持ってプラグをコンセントから抜いてください。**
感電・火災・故障の原因となります。

指示 **電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込んでください。**
差し込みが不完全な場合、発火・火災・発熱・感電の原因となります。

水濡れ禁止 **ACアダプタ・USBケーブルは防水性能を有しておりません。**
水やペットの尿など液体がかからない場所で使用してください。発熱・発火・火災・感電・ショートの原因となります。万一、液体がかかってしまった場合にはただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを抜く **万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちにACアダプタを持ってプラグをコンセントから抜いてください。**
感電・発煙・火災の原因となります。

指示 **プラグにほこりがついたときは、ACアダプタを持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などで拭き取ってください。**
火災の原因となります。

指示 **ACアダプタをコンセントに差し込むときは、ACアダプタのプラグや端子に導電性異物(鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど)が触れないように注意して、確実に差し込んでください。**
感電・ショート・火災などの原因となります。

濡れ手禁止 **濡れた手でACアダプタ・USBケーブルのプラグを抜き差ししないでください。**
感電や故障などの原因となります。

禁止 **雷が鳴り出したら、ACアダプタ・USBケーブルには触れないでください。**
感電などの原因となります。

水濡れ禁止 **風呂場など湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。**
感電や故障の原因となります。

水濡れ禁止 **濡れた電池パックを充電しないでください。**
感電や故障の原因となります。

禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。

たこ足配線などで定格を超えると、発火・火災・発熱の原因となります。

禁止

ケーブルを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたまま使用したりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。

発火・火災・感電・ショートの原因となります。

指示

ACアダプタ・USBケーブルを本機に接続するときは、必ずプラグ部分を持ってまっすぐ差し込んでください。また、取り外すときも必ずプラグ部分を持って抜いてください。

ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷し、発火・火災・感電の原因となります。

⚠注意

電源プラグを抜く

お手入れの際は、コンセントから、必ずACアダプタを持ってプラグを抜いてください。

感電などの原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントから抜くときは、ケーブルを引っ張らず、ACアダプタを持ってプラグを抜いてください。

ケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、感電や火災などの原因となります。

禁止

ACアダプタをコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。

けがや故障の原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（平成9年3月不要電波問題対策協議会［現電波環境協議会］）に準拠し、また「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成17年3月「社団法人電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

⚠警告

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどに確認してください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

指示

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

- 手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本機の電源を切ってください。
- ロビーなど、携帯電話の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本機の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車などの混雑した場所にいるときは、本機の電源を切ってください。付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている方がいる可能性があります。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

お願いとご注意

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

ご利用にあたって

- 本機に登録された電話帳／メール／音楽／静止画／動画などの内容は、事故や故障／修理、その他取り扱いによっては変化、消失する場合があります。大切な内容は控えをお取りください。万一変化、消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 一般電話／テレビ／ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 通話中、インターネット利用中、メールなどの利用中や充電中など、ご使用状況によっては本機、USIMカードが温かくなることがありますが異常ではありません。
- 初めてご使用になるときや、長時間使用しなかったときは、ご使用前に充電してください(充電中、電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません)。
- 電池パックは、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。
- 本体(電池パックを取り外した面)に貼ってある製造番号の印刷されたシールはお客様のソフトバンク携帯電話が電波法および電気通信事業法により許可されたものであることを証明するものですので、はがさないでください。
- 本機に保存されたメールやダウンロードしたデータ(有料／無料は問わない)などは、機種変更／故障修理などによるソフトバンク携帯電話の交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 偏光サングラスなどをかけた状態でディスプレイを見ると、角度によっては暗く見えたり、歪んで見えたりすることがありますのでご注意ください。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央にあたるようにしてお使いください。受話口(音声穴)が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- データを再生中に無理なキー操作を行うと、データが停止するなど通常と異なる動作をする場合があります。
- 周囲の明るさは明るさセンサーで感知しています。指などで覆わないようにご注意ください。

- 静止画撮影で静止画撮影画面を長時間連続して表示し続けた場合や、動画撮影、ブラウザなどを繰り返し長時間連続作動させた場合、本機の一部が温かくなり、長時間皮膚に接触すると低温やけどの原因となる場合がありますので、ご注意ください。
- 操作方法や使用環境によっては、本機の内部温度が高くなり熱くなることがあります。その際には安全のため、充電等一部機能が停止する場合があります。また、内部温度が高い状態のまま使用し続けると、電源が切れますのでご注意ください。
- 長時間お使いになった後、取り外したSDカードが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。
- 静電気や電気的ノイズの発生しやすい場所でのSDカードの使用や保管は避けてください。
- SDカードに保存したデータは、パソコンや他のメディア(FD･MO･CD-R/Wなど)にバックアップしてください。SDカードの破損などにより、保存したデータが消失したことによる損害について、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機で画面ロック解除用のPIN／パスワードを設定した場合は、お忘れにならないようご注意ください。お忘れになった場合は、最寄りのソフトバンクショップにて所定の手続きが必要となります。その際、お客様が登録／設定した内容が消失しますのでご了承ください。
- 本機では、Googleが提供する「Google Play™」上より、さまざまなアプリケーションのインストールが可能です。お客様ご自身でインストールされるこれらのアプリケーションの内容(品質、信頼性、合法性、目的適合性、情報の真実性、正確性など)およびそれに起因するすべての不具合(ウイルス等)につきまして、当社は一切の保証を致しかねます。
- 本機は発着信規制非対応となります。
  以前お使いの携帯電話で発着信規制を設定されたまま、本機に機種変更を行った場合、発着信規制の解除が必要となります(P.52)。また、交換機用暗証番号の入力を3回続けて間違えると、発着信規制の解除ができなくなります。その際は、お問い合わせ先(P.58)までご連絡ください。

お取り扱いについて

- 無理な力がかかると、ディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、カバンの中で重いものの下になったりしないよう、ご注意ください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。

●極端な高温・低温・多湿はお避けください(周囲温度5℃〜35℃、湿度35%〜85%の範囲内でご使用ください)。
- ACアダプタ　　　- USBケーブル(オプション品)
●極端な高温・低温・多湿はお避けください。周囲温度5℃〜35℃（ただし、36℃〜40℃であれば一時的な利用は可能です。)、湿度35%〜90%の範囲内でご使用ください。
- 201K本体　　　- 電池パック
●外部接続端子・3.5mmイヤホン端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて端子部を変形、傷つけないようにご注意ください。
●汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン／シンナー／アルコール／洗剤などを用いると外装や文字が変質する恐れがありますので、使用しないでください。
●本機はアンテナ部に印刷タイプのアンテナを用いています。爪や鋭利な物で引っかくとパターンは切断されて性能が出せなくなります。
●電池パックの取り外しは、電源を切り、画面が消えたことを確認してから行ってください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失する恐れがあります。
●電池パックのシールを剥がさないでください。
●夏期、閉めきった車内に放置するなど極端な高温や低温環境では、電池パックの容量が低下し利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ常温でお使いください。
●長期間使用しない場合には、本体から電池パックを取り外し、電池パックケースに入れて高温多湿を避けて保管してください(電池パックケースは予備電池パック(オプション品)に付属しています)。ただし、長期間充電をしない場合、本機内のデータが消失することがありますのでご注意ください。
●電池パックには寿命があります。充電しても機能が回復しない場合や膨らみが発生している場合は寿命ですので、指定の新しい電池パックをご購入ください。なお、寿命は使用状態により異なります。
●電池パックを普通のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった電池パックの回収にご協力ください。ソフトバンクショップなどでご使用済み電池パックの回収を行っております。

Li-ion00

●本機で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)または、常時点灯するドットが存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
●強く押す、たたくなど、故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や、破損の原因となることがあります。
●本機のディスプレイ部には透明度の高いガラス素材(強化ガラス)を使用しているため、表面に曇りや手あか、ほこりなどによる汚れが目立つ場合があります。その際は、乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
●ディスプレイやカメラレンズを硬いものでこすったりして傷つけないようご注意ください。
●ポケットおよびカバンなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材にあたらないようにしてください。また、金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となることがありますのでご注意ください。
●寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所で使用された場合、本機内に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下での使用は故障の原因となりますのでご注意ください。
●エアコンの吹き出し口などの近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。
●強力な磁石を近づけると故障の原因となる場合がありますので、ご注意ください。
●落下などにより本機の塗装表面に傷を付けないようにご注意ください。水等の付着が続くと塗装表面が剥がれる場合があります。
●本機のディスプレイは、屋外や蛍光灯の下などの明るい場所では見えにくい場合がありますが、故障ではありません。
●USIMカードは、ソフトバンクからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、ソフトバンクショップもしくはお問い合わせ先(P.58)までお問い合わせください。また、解約などで不要になったUSIMカードはソフトバンクショップまでお持ちください。
●USIMカードの取り外し、および取り付け時には、必要以上に力を入れないようにしてください。

●他のICカードリーダー／ライターなどに、USIMカードを取り付けて故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
●USIMカードのIC（金属）部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
●USIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。
●USIMカードを分解・改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。
●SDカードは正しく取り付けてください。正しく取り付けられていないとSDカードを利用することができません。
●SDカードの端子面に触れたり、水に濡らしたり、汚したりしないでください。
●SDカードを曲げたり、折ったりしないでください。
●使用しなくなったSDカードを破棄する場合、保存内容が流出する恐れがありますので、保存内容を消去するだけでなく、物理的にSDカードを破壊した上で処分することをおすすめします。
●ご使用にならないときは、ACアダプタの電源プラグをコンセントから外してください。
●ACアダプタのケーブルをプラグに巻きつけないでください。感電・発火・火災の原因となります。

カメラ機能について

●カメラのレンズに直射日光があたる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
●本機を暖かい場所に長時間置いていて画像を撮影したり、保存したりしたときは画像が劣化することがあります。
●カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
●蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー（人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき）を感知してしまい、画面にうすい縞模様が出る場合がありますが、故障ではありません。
●カメラ起動時など、カメラ動作中に微小な連続音が聞こえる場合がありますが、機器の内部部品の動作音で異常ではありません。
●静止画撮影で静止画撮影画面を長時間連続して表示し続けた場合や、動画撮影を繰り返し長時間連続動作させた場合、本体の一部分が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。

●ご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
●お客様が本機のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
●大切な撮影（結婚式など）をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されているか、聞き取りやすく音声が録音されているかご確認ください。
●故障・修理・その他の取り扱いにより、撮影した画像データ（以下「データ」といいます）が変化または消失することがあります。この場合当社は、変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失により生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
●カメラ機能を使用して、撮影が許可されていない場所や書店などで情報の記録を行うことはやめてください。

音楽／動画／ワンセグ機能について

●自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびワンセグを視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
●耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与える場合がありますのでご注意ください。
●電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。

緊急速報メールについて

●お買い上げ時、受信設定は「利用する」に設定されています。
●受信時には、マナーモードであっても警告音が鳴動します。
●通話中、通信中および電波状態が悪い場合は受信できません。
●お客様のご利用環境・状況によっては、お客様の現在地と異なるエリアに関する情報が受信される場合、または受信できない場合があります。
●受信設定を「利用する」にしている場合は、待受時間が短くなることがあります。
●当社は情報の内容、受信タイミング、情報を受信または受信できなかったことに起因した事故を含め、本サービスに関連して発生した損害については、一切責任を負いません。

FeliCaリーダー／ライターについて

●FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。
FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。

Bluetooth®機能について

■ 周波数帯について

本機のBluetooth®機能は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。

2.4FH1/XX1
本機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式等を採用し、与干渉距離は約10m以下です。

2.402GHz～2.480GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

■ Bluetooth®についてのお願い

●本機のBluetooth®機能は日本国内およびFCC規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
●Bluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
●通信機器間の距離や障害物、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

■ Bluetooth®ご使用上の注意

本機のBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、ソフトバンクショップもしくはお問い合わせ先(P.58)までお問い合わせください。

- 本機はすべてのBluetooth®対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

Wi-Fi(無線LAN)について

■ 周波数帯(2.4GHz帯)について

本機のWi-Fiは、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。

2.4DS4/OF4

本機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS/OFDM変調方式を採用し、与干渉距離は約40m以下です。

2.402GHz～2.480GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

■ 周波数帯(5GHz帯)について

本機のWi-Fiは5GHz帯の周波数を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。

本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。
W52(5.2GHz帯／36, 38, 40, 44, 46, 48ch)
W53(5.3GHz帯／52, 54, 56, 60, 62, 64ch)
W56(5.6GHz帯／100, 102, 104, 108, 110, 112, 116, 118, 120, 124, 126, 128, 132, 134, 136, 140ch)

IEEE802.11b/g/n

IEEE802.11a/n

J52 W52 W53 W56

■ Wi-Fiについてのお願い

●本機の無線LAN機能は日本国内及びFCC／CE規格に準拠し、認定を取得しています。フランスなど一部の国／地域では無線LAN機能の使用が制限されます。海外でご利用になる場合はその国／地域の法規制などの条件をご確認ください。

●Wi-Fi機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Wi-Fi機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。

●通信機器間の距離や障害物、Wi-Fi機器により、通信速度や通信距離は異なります。

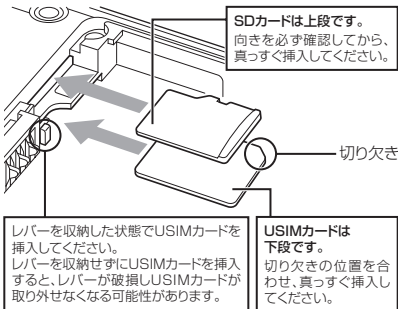
■ Wi-Fiご使用上の注意

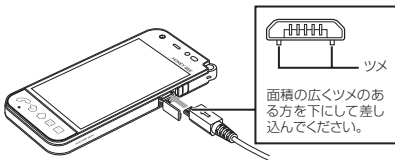
本機のWi-Fiが使用する2.4GHz帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、ソフトバンクショップもしくはお問い合わせ先(P.58)までお問い合わせください。

- 本機はすべてのWi-Fi対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのWi-Fi対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Wi-Fiの標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Wi-Fiによるデータ通信を行う際はご注意ください。
- Wi-Fi利用時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

USIMカード／SDカード挿入時の注意

USIMカードとSDカードの挿入位置と挿入方法にご注意ください。

microUSBプラグ接続時の注意

microUSBプラグを接続するときは、プラグ先端の変形、破損に注意し、正しい向きで本体に差し込んでください。
プラグの向きを間違えると、プラグを破損する可能性があります。

防水性能について

本機は、IPX5相当、IPX7相当の防水性能（外部接続端子キャップ・イヤホン端子キャップ・電池カバーが完全に装着された状態）（当社試験方法による）を備えておりますが、この「防水性能について」に記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障などの恐れがあります。安全にお使いいただくために、この「防水性能について」の内容をよくお読みになってからご使用ください。

●IPX5相当
内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことを意味します。

●IPX7相当
常温で水道水、かつ静水の水深1mの水槽に電話機本体を静かに沈め、約30分間水底に放置しても、本体内部に浸水せず、電話機としての機能を保つことを意味します。

●具体的には…
雨（1時間あたりの雨量が20mm未満）の中で傘をささずにお使いいただけます。バスルームやキッチン、プールサイドなど水がある場所でもお使いいただけます。

ご使用にあたっての重要事項

●浸水の原因となるため、外部接続端子キャップ・イヤホン端子キャップをしっかりと閉じて、電池カバーを確実に取り付けてください。
キャップ類が浮いていることのないように、完全に閉じていることを確認してください。

●接触面に微細なゴミ（髪の毛一本、砂粒一個など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
●手や本機が濡れている状態での外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップ、電池カバーの開閉は絶対にしないでください。

●砂浜などの上に置かないでください。送話口・受話口・スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなる場合があります。
●水中で使用(キー操作を含む)しないでください。
●常温の真水・水道水以外の液体(石けん・洗剤・入浴剤、温泉、熱湯、砂・泥、海水、プールの水、アルコールなど)をかけたり、浸けないでください。

石けん・洗剤・入浴剤

温泉

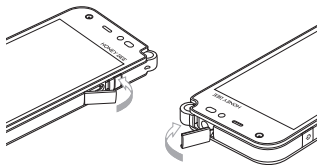
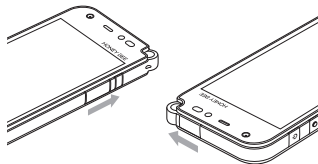
熱湯

砂・泥

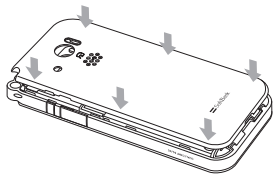
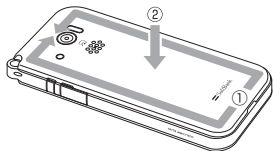
海水

プールの水

外部接続端子キャップ/イヤホン端子キャップの閉じかた

1 外部接続端子キャップ/イヤホン端子キャップのヒンジを収納し押しこむ

2 矢印の方向になぞり、外部接続端子キャップ/イヤホン端子キャップが浮いていることのないよう確実に閉じる

電池カバーの閉じかた

電池カバーが浮いていることのないように、確実に閉じてください。

1 電池カバーと本体を合わせるように置き、電池カバーを矢印の方向へ押す

2 電池カバーの外周を①の方向になぞり、②の方向にしっかり押さえ、完全に装着させる

注意事項について

■ 利用シーン別注意事項

<雨の中>

●強い雨(1時間あたりの雨量が20mm以上)の中で使用しないでください。
※ディスプレイに水滴が付着していると、タッチパネルが誤動作する場合があります。

●雨がかかっている最中、または手が濡れている状態での外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップ、電池カバーの開閉は絶対にしないでください。

<バスルーム>

●浴槽に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。
※ディスプレイに水滴が付着していると、タッチパネルが誤動作する場合があります。

●石けん、洗剤、入浴剤の入った水、温泉水には浸けないでください。

●温水シャワーを直接当てないでください。

●ワンセグを見るときは安定した場所に置いてご使用ください。

●高温のお湯をかけないでください。

●バスルームへの長時間の持ち込みはお避けください。

●周囲温度5℃~35℃(ただし、36℃~40℃であれば一時的な利用は可能です。)、湿度35%~90%の範囲で使用してください。

<キッチン>

●石けん、洗剤、調味料、ジュースなど真水・水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。

●高温のお湯や冷水をかけたり、浸けたりしないでください。

●コンロのそばや冷蔵庫の中など、極端に高温・低温になるところに置かないでください。

●強い流水(6リットル/分を超える)をかけないでください。

●ワンセグを見るときは安定した場所に置いてご使用ください。

<プールサイド>

●プールの水に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。

●プールの水には消毒用塩素が含まれているため、プールの水がかかった場合には速やかに常温の水道水※で洗い流してください。洗う際にブラシなどは使用しないでください。
※やや弱めの流水(6リットル/分以下)

■ 共通注意事項

●外部接続端子キャップ・イヤホン端子キャップをしっかりと閉じ、電池カバーは裏側のゴムパッキンが正しい位置にあることを確認のうえ、確実に取り付けてください。微細なゴミ(繊維くず、髪の毛一本、土、砂粒一個など)がわずかでも挟まると、浸水の原因となります。

●外部接続端子キャップ・イヤホン端子キャップ・電池カバーの隙間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、浸水の原因となります。

●手袋などをしたまま、外部接続端子キャップ・イヤホン端子キャップの開閉をしたり、電池カバーの取り外し/取り付けをしたりしないでください。手袋などに付着している微細なゴミ(繊維くず、髪の毛一本、土、砂粒一個など)がわずかでも挟まると、浸水の原因となります。

●外部接続端子キャップ・イヤホン端子キャップを開閉したり、電池カバーの取り外し/取り付けをしたりするときは、本機や手に水滴・砂・汚れなどが付着していないことを確認してください。付着している水滴・砂・汚れなどが本体内部に入り込んだり、キャップ類に挟まるなどして、故障や浸水の原因となります。わずかでも付着している場合は、本機や手の水滴・砂・汚れなどを繊維くずの出ない乾いた清潔な布で拭き取ってから、作業を行ってください。

●本機に水滴が付着したまま放置しないでください。隙間から水分が入り込んでいる場合があります。また、濡れたままですと、音が小さくなる場合があります。水で濡れた場合は、本機を振る(P.36)などして水を取り除き、本機から出た水分を繊維くずの出ない乾いた清潔な布で速やかに拭き取ってください。寒冷地では、本機に水滴が付着していると、凍結し故障の原因となります。

●本機の防水性能は真水・水道水にのみ対応しており、温水や塩水、洗剤、薬品、汗などには対応しておりません。真水・水道水以外の水分(海水・洗剤など)、または砂・泥などが付着した場合は、速やかに常温の水道水※で洗い流してください。洗う際にブラシなどは使用せず、電池カバー、外部接続端子キャップ、イヤホン端子キャップが開かないように押さえながら手で洗ってください。
※やや弱めの流水(6リットル/分以下)

●耐水圧設計ではありませんので、規定(IPX5・IPX7)を超える強い水流(例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流)を当てたり、水中に長時間沈めたりしないでください。

●洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。

- ●水中で強い衝撃を与えないでください(例:水の張った洗面台、トイレ、洗濯機に落とさないでください)。
- ●本機以外の付属品(ACアダプタなど)は、防水性能を備えておりません。
- ●送話口・受話口・スピーカーの穴を尖ったものでつつかないでください。
- ●外部接続端子キャップ・イヤホン端子キャップ・電池カバー裏側のゴムパッキンは、防水性能を維持するための重要な部品です。以下のことにご注意ください。
  - はがしたり、傷つけたりしないでください。
  - ゴミなどが付着しないようにしてください。微細なゴミ(繊維くず、髪の毛一本、土、砂粒一個など)がわずかでも付着していると、浸水の原因となりますので、必ず取り除いてください。
  - 真水・水道水以外の液体(温水や塩水、洗剤、薬品、汗など)が付着すると、防水性能を維持できなくなる場合があります。
  - キャップ類を閉める際はゴムパッキンを噛み込まないよう注意してください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷つき、防水性能が維持できなくなる場合があります。
  - 防水性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをお勧めします。お客様ご依頼による部品交換は、本機をお預かりして有料にて承ります。お近くのソフトバンクショップもしくはお問い合わせ先(P.58)までお問い合わせください。
- ●落下させるなど本機に強い衝撃を与えないでください。防水性能が維持できなくなる場合があります。
- ●本機は水に浮きません。
- ●熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、ドライヤーなどの温風を当てたりしないでください。本機は耐熱設計ではありません。
- ●周囲温度5℃～35℃(ただし、36℃～40℃であれば一時的な利用は可能です。)、湿度35%～90%の範囲で使用してください。範囲を超える極端に暑い場所や寒い場所で使用すると、防水性能が維持できない場合があります。
- ●急激な温度変化は結露の原因となります。寒いところから暖かいお風呂などに本機を持ち込むときは本機が常温になってから持ち込んでください。本機は結露に対して特別な対策を実施しておりません。

  ※ディスプレイの内側に結露が発生した場合は、結露がとれるまで常温で放置してください。

- ●想定される使われ方に即した試験を行い、性能を満足することを確認していますが、実際のご使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となり有償修理となります。

■水に濡れたときは

本機に水滴が付着したまま使用すると、送話口・受話口・スピーカーに水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなったり、衣服やかばんなどを濡らしてしまうことがあります。また、隙間から水分が入り込んでいる場合がありますので、下記の手順で本機の水分を取り除いてください。

1 本機表面の水分を繊維くずの出ない乾いた清潔な布などでよく拭き取る

2 本機をしっかり持ち、水が出なくなるまで矢印の方向に振る

- 振る際は周りに危険がないことを確認してください。
- 本機が飛び出さないように、しっかりと持ち水抜きをしてください。

3 繊維くずの出ない乾いた清潔な布などに本機を軽く押し当て、送話口・受話口・スピーカー部などの隙間に入った水分を拭き取る

4 本機から出た水分を十分に取り除いてから常温で1時間以上放置して乾燥させる

上記手順を行ったあとでも、本機に水分が残っている場合があります。濡れて困るもののそばには置かないでください。
また、衣服やかばんなどを濡らしてしまう恐れがありますのでご注意ください。

■ 充電のときは

付属品、オプション品は防水性能を有していません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- 本機が濡れていないかご確認ください。濡れている場合はよく水抜きをして繊維くずの出ない乾いた清潔な布などで拭き取ってから、外部接続端子キャップ・イヤホン端子キャップを開いたりしてください。
- 水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして繊維くずの出ない乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、外部接続端子キャップ・イヤホン端子キャップを開いたりしてください。
- 本機が濡れている状態では絶対に充電しないでください。水が付着したままで充電を行った場合、故障・発熱などの恐れがあります。
- 濡れた手でACアダプタ・USBケーブル(オプション品)に触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプタ・USBケーブル(オプション品)は、水のかからない状態で使用してください。火災や感電の原因となります。
- ACアダプタ・USBケーブル(オプション品)は、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。火災や感電の原因となります。

知的財産権について

著作権/肖像権について

- お客様が本機で撮影/録画/録音したものを複製、改変、編集などをする行為は、個人で楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などをすると肖像権などの侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。
- 撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影/録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 著作権にかかわる画像やサウンドの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、利用できませんのでご注意ください。

本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
本機を、法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.

Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Excel®、PowerPoint®、Exchange®は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

Windows®はMicrosoft® Windows® operating systemの略称として表記しています。

OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

microSD、microSDHC、microSDXCロゴはSD-3C,LLCの商標です。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、京セラ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

本製品は、無線LAN標準規格のIEEE802.11に基づき、無線LAN機器の相互接続性を保証するためにWi-Fi Alliance®が定めている認証テストをパスしており、「Wi-Fi CERTIFIED™」という認定が与えられています。Wi-Fiロゴがついた製品と相互接続が保証されます。IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11gおよびIEEE802.11nに対応しております。

Wi-Fi Protected Setup™(WPS)で、無線LANの接続設定内容(SSIDや認証方式、暗号キーなど)をプッシュボタン方式、PINコード入力方式で設定できる機能を有しています。

Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、WPA®、WPA2®、
Wi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。
Wi-Fi CERTIFIED™およびWi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Allianceの商標です。

AOSS™は株式会社バッファローの商標です。

本製品には赤外線通信機能としてイーグローバレッジ株式会社のDeepCore® 3.0Plus for Androidを搭載しています。
Copyright© 2012 E-Globaledge Corp. All Rights Reserved.

Adobe、Adobe ロゴ、Adobe PDF および Adobe PDF ロゴは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

Google、Google ロゴ、Android、Android ロゴ、Google Play、Google Play ロゴ、Playミュージック、Playミュージック ロゴ、Playムービー、Playムービー ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google マップ、Google マップ ロゴ、Google トーク、Google トーク ロゴ、Picasa、Picasa ロゴ、Google Latitude、Google Latitude ロゴ、Google マップ ナビ、Google マップ ナビ ロゴ、Google+ ローカル、Google+ ローカル ロゴ、Google 検索、Google 検索 ロゴ、Google 音声検索、Google 音声検索 ロゴ、Google カレンダー、Google カレンダー ロゴ、Google+、Google+ ロゴ、Chrome、Chrome ロゴ、YouTube および YouTube ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。

iWnn IME

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnIMEを使用しています。
iWnn IME(c)OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2012 All Rights Reserved.

書体切り替えには、株式会社リムコーポレーションの「もじチェン」を使用しています。「もじチェン」は株式会社リムコーポレーションの登録商標です。

本製品には、株式会社リムコーポレーションの書体を搭載しています。

本製品には、株式会社モリサワの書体を搭載しています。

HONEY BEE®

「HONEY BEE(ロゴ)」、「HONEY BEE」、「すぐ文字」は京セラ株式会社の登録商標です。

McAfee およびその他のマークは、米国法人McAfee, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。
セキュリティを連想させる赤はMcAfeeブランド製品独自の色です。

ソーシャルフォン、mixi、ミクシィおよびmixiロゴは株式会社ミクシィの登録商標です。

Facebook、Facebookロゴは、Facebook, Inc.の商標または登録商標です。

Amebaは株式会社サイバーエージェントの登録商標です。

「GREE」および「GREE」ロゴは、グリー株式会社の登録商標または商標です。

「Mobage」および「Mobage」ロゴは、株式会社ディー・エヌ・エーの登録商標または商標です。

「スグデコ！」は、株式会社アイフリークの登録商標です。

「McDonald's」および「McDonald's」ロゴは日本マクドナルド株式会社の登録商標または商標です。

本製品は株式会社セックのワンセグトータルソリューション「airCube for Android」を搭載しています。「airCube」は株式会社セックの登録商標です。

ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

おサイフケータイ および おサイフケータイ ロゴは、株式会社NTTドコモの商標または登録商標です。

FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。

は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。

Internet SagiWallは、BBソフトサービス株式会社の商標または登録商標です。

SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。

「知恵袋」はヤフー株式会社の登録商標です。

「Yahoo!」および「Yahoo!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

音声認識システムには株式会社アドバンスト・メディアのAmiVoice(R)を使用しています。
Copyright (C) 2010-2011 Advanced Media, Inc.

音声コーデックにはJean-Marc Valin/Xiph.Org FoundationのSpeexを使用しています。
(C) 2002-2003, Jean-Marc Valin/Xiph.Org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

S!メール、デコレメール、楽デコ、スマセレ、カバコレ、スマートセキュリティ powered by McAfee®、ULTRA SPEEDはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。

「CAMELY」、「RUMOR fashion／ルモア ファッション」は、フリュー株式会社の商標です。

静止画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「PhotoSolid」を採用しております。「PhotoSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。
動画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「MovieSolid」を採用しております。「MovieSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。
被写体自動追尾技術には株式会社モルフォの「TrackSolid」を採用しております。「TrackSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。
画像エフェクト技術には株式会社モルフォの「Morpho Effect Library」を採用しております。「Morpho Effect Library」は株式会社モルフォの商標です。
HDR(High Dynamic Range)技術には「Morpho HDR」を採用しています。「Morpho HDR」は株式会社モルフォの商標です。

その他、本書に記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

このマニュアルで説明されている携帯電話にインストールされているソフトウェアについては、お客様に使用権が許諾されています。本ソフトウェアのご使用に際しては、以下の点に注意ください。

(a) ソフトウェアのソースコードの全部または一部について、複製、頒布、改変、解析、リバースエンジニアリングまたは導出をおこなってはなりません。
(b) 法律や規則に違反して、ソフトウェアの全部または一部を輸出してはなりません。
(c) ソフトウェアの商品性、特定目的への適合性、第三者知的財産権の不侵害などの黙示の保証を行うものではありません。

ただし、ソフトウェアに含まれている、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL) およびその他のオープンソースソフトウェアのライセンスに基づくソフトウェアならびに京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアのご使用に際しては、当該ソフトウェアのライセンス条件が優先して適用されます。
なお、オープンソースソフトウェアについては、以下に明示しております「オープンソースソフトウェアについて」をご確認ください。

■ オープンソースソフトウェアについて

本製品は、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL)またはその他のオープンソースソフトウェアライセンス及び／またはその他の著作権ライセンス、免責条項、ライセンス通知の適用を受ける第三者のソフトウェアを含みます。GPL、LGPL及びその他のライセンス、免責条項及びライセンス通知の具体的な条件については、本製品の「端末情報」から参照いただけます。詳細については当社ホームページをご覧ください。
本製品には、京セラ株式会社が著作権を有するソフトウェア及び京セラが許諾を受けたソフトウェアが含まれています。
本製品に含まれる、京セラ株式会社がオープンソースソフトウェアの規格やライセンスに準拠し設計、開発したソフトウェアの著作権は京セラ株式会社又は第三者が有しており、著作権法上認められた使用法及び当社が別途認めた使用法を除き、お客様は当社に無断で頒布、複製、改変、公衆送信等の使用を行うことはできません。

携帯電話機の比吸収率(SAR)※1について

この機種201Kの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準※1は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)について、これが2W/kg※2の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。この携帯電話機201Kの、SARは0.759W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

側頭部以外の位置でご使用する場合

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにすることで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインに適合します(※3)。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

・総務省のホームページ
  http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
・一般社団法人電波産業会のホームページ
  http://www.arib-emf.org/index02.html

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
※2 平成9年に郵政省電気通信技術審議会により答申された「電波防護指針」に規定されています。
※3 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格(IEC62209-2)が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に情報通信審議会より答申されています。

電波ばく露の影響に関する情報として、米国連邦通信委員会(FCC)の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

「米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。
測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、下記のとおりに従って身体に装着した場合は0.787W/kgです。
身体装着の場合:この携帯電話機201Kでは、一般的な携帯電話の装着法として身体から1センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1センチの距離に携帯電話を固定できる装身具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。
上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。
比吸収率(SAR)に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のホームページを参照してください。

FCC Radio Frequency Safety (英文のみ)
http://transition.fcc.gov/oet/rfsafety/

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

この携帯電話機201Kは無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR:Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSARの許容値は2W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は1.030W/kgです。
SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。
世界保健機関は、携帯機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関（英文のみ）
http://www.who.int/emf

SoftBank スマートフォン 各機種の電波比吸収率（SAR）一覧はこちら
http://mb.softbank.jp/mb/support/sar/

General Notes

Electromagnetic Safety

For body-worn operation, this phone has been tested and meets RF exposure guidelines when used with accessories containing no metal, that position handset a minimum of 15 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

CE Declaration of Conformity

CE 1177 ⓘ

In some countries/regions, such as France, there are restrictions on the use of Wi-Fi. If you intend to use Wi-Fi on the handset abroad, check the local laws and regulations beforehand.
KYOCERA Corporation hereby declares that SoftBank 201K is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
A copy of the original declaration of conformity for each model can be found at the following Internet address:
http://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/consumer/

RF Exposure Information/Specific Absorption Rate* (SAR) Information

This mobile phone 201K meets the MIC's**** technical regulation for exposure to radio waves.
The technical regulation* established permitted levels of radio frequency energy, based on standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The regulation employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg)** averaged over ten grams of tissue.
The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The value of the limit is equal to the international guidelines recommended by ICNIRP*****.
The highest SAR value for this mobile phone is 0.759 W/kg when tested for use at the ear.
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, all phones meet MIC's technical regulation.
Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the phone during operation can be well below the maximum value.

Use at positions other than at the ear

This mobile phone may be used at positions other than at the ear. By using an accessory such as a belt clip holster that maintains a 1.5 cm separation with no metal (parts) between the body and the mobile phone, this mobile phone will comply with international guidelines for radio wave protection (***).

The World Health Organization has announced that “A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use.”

For more information about SAR, see the following websites:
- Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)
  http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/body/index.htm
- Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)
  http://www.arib-emf.org/index02.html (Japanese)

* The technical regulation is provided in Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.
** Provided for in “Radio-radiation protection guidelines,” reported in 1997 by the Telecommunications Technology Council, Ministry of Posts and Telecommunications.
*** A method of measuring SAR when a mobile phone is used at positions other than at the ear was established in March 2010 through an international standard (IEC62209-2). MIC technical regulation was reported in October 2011 by the Information and Communications Council.
**** Ministry of Internal Affairs and Communications
***** International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection

Standards of the Federal Communications Commission (FCC) of the U.S. Government and information from the E.U. are given as information relating to RF exposure. For details, see “FCC RF Exposure Information” and “European RF Exposure Information.”

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.
The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.394 W/kg, and when worn on the body in a holder or carry case, is 0.787 W/kg.
Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1 cm separation distance between the user’s body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/ after searching on FCC ID JOY201K.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at
http://transition.fcc.gov/oet/rfsafety/

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.774 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this User Guide**. In this case, the highest tested SAR value is 1.030 W/kg***. As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.
The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.
** Please see Electromagnetic Safety on page 48 for important notes regarding body worn operation.
*** A method of measuring SAR when a mobile phone is used at positions other than at the ear was established in March 2010 through an international standard (IEC62209-2). MIC technical regulation was reported in October 2011 by the Information and Communications Council.

World Health Organization
http://www.who.int/emf

List of Specific Absorption Rates (SAR) for radio waves by smartphone model
http://mb.softbank.jp/mb/support/sar/ (Japanese)

暗証番号について

本機のご利用にあたっては、次の暗証番号が必要となります。

操作用暗証番号	データの初期化、おサイフケータイロックを利用するときに使用する暗証番号です。お買い上げ時は設定されていません。
PIN／パスワード	画面ロックの解除を行うときに使用する暗証番号です。お買い上げ時は設定されていません。
交換機用暗証番号（発着信規制用暗証番号）	ご契約時の4桁の番号です。契約内容の変更、オプションサービスを一般電話から操作するときに使用します。

- 暗証番号はお忘れにならないようにご注意ください。万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先(P.58)までご連絡ください。
- 暗証番号は他人に知られないようにご注意ください。他人に知られ悪用されたとき、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

発着信規制を解除する

本機は発着信規制非対応となります。以前の携帯電話で設定した発着信規制を解除するには次の手順を行ってください。

1. ホーム画面で
2. 「#330＊交換機用暗証番号#」を入力
3.

PINコード設定

PINコードとはUSIMカードの暗証番号です。
第三者による本機の無断使用を防ぐため使用します。お買い上げ時には「9999」に設定されています。

• PINコードの入力を3回間違えると、PINロック状態になります。その際は、PINロック解除コード(PUKコード)が必要となります。PUKコードについては、お問い合わせ先(P.58)までご連絡ください。PUKコードを10回間違えると、USIMカードがロックされ、本機が使用できなくなります。その際には、ソフトバンクショップにてUSIMカードの再発行(有償)が必要になります。

PINコードを有効にする

PINコードを有効にすることで、USIMカードを本機に取り付けた状態で電源を入れたとき、PINコードを入力する画面を表示するように設定することができます。

1 ホーム画面で [アプリ] ▶「端末設定」
2 「セキュリティ」▶「USIMカードロック設定」
3 「USIMカードロック」
4 PINコードを入力 ▶「OK」

PINコードを変更する

PINコードの変更は、PINコードを有効にしている場合のみ行えます。

1 ホーム画面で [アプリ] ▶「端末設定」
2 「セキュリティ」▶「USIMカードロック設定」
3 「PINコードの変更」
4 現在のPINコードを入力 ▶「OK」
5 新しいPINコードを入力 ▶「OK」▶ 新しいPINコードを再度入力 ▶「OK」

ソフトウェア更新

ネットワークを利用してソフトウェア更新が必要かどうかを確認し、必要なときには更新ができます。

● 本機の状況(故障・破損・水濡れなど)によっては、保存されているデータが破棄されることがあります。必要なデータは、ソフトウェア更新前にバックアップしておくことをおすすめします。なお、データが消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
● 更新が完了するまで、本機は使用できません。ソフトウェア更新には時間がかかることがあります。
● 電波状況のよい所で、移動せずに操作してください。また、電池残量が十分ある状態で操作してください。更新途中に電波状態が悪くなったり、電池残量がなくなったりすると、更新に失敗することがあります。更新に失敗すると本機が使用できなくなることがあります。

ソフトウェアを更新する

1 ホーム画面で [アプリ] ▶「端末設定」
2 「端末情報」▶「ソフトウェアアップデート」
3 「ソフトウェア更新開始」
  • 以降は、画面の指示に従って操作してください。

■ ソフトウェア更新が完了すると

ソフトウェア更新完了の画面が表示されたあと、自動的に再起動します。

• ソフトウェア更新後に再起動しなかったときは、電池パックを取り外し、再度取り付けてから電源を入れ直してください。それでも起動しないときは、お問い合わせ先(P.58)までご連絡ください。

適合規格情報について

適合規格情報を表示できます。

1 ホーム画面で [アプリ] ▶「端末設定」
2 「端末情報」▶「適合規格情報」

保証とアフターサービス

保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

● お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
● 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
● 保証期間は、保証書をご覧ください。

- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（電話帳／画像／サウンドなど）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

アフターサービスについて

修理を依頼される場合、お問い合わせ先(P.58)または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

● 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
● 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

- アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのソフトバンクショップまたはお問い合わせ先(P.58)までご連絡ください。

使用材料

201K本体

使用箇所	材質／表面処理
外装ケース	PA樹脂(ガラス繊維含有)／PC樹脂(ガラス繊維含有)／アクリル系UV硬化塗装処理
電池カバー	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
ディスプレイ	ガラス
外部接続端子カバー	PC樹脂(ガラス繊維含有)＋エラストマ樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
電源キー／音量キー／電話キー／戻るキー／ホームキー／メニューキー／メールキー	PC樹脂(ガラス繊維含有)／アクリル系UV硬化塗装処理
カメラレンズ／ライト／赤外線ポートカバー	アクリル樹脂
ワンセグ用アンテナ(先端部)	PC樹脂
ワンセグ用アンテナ(金属部)	SUS
ネジ	SUS 410 (表面処理PS)／SWCH16A (鉄／クロムメッキ)

電池パック(KYBAB1)

使用箇所	材質／表面処理
外装	PC樹脂
シール	PET
端子	金メッキ

ACアダプタ(KYCAA1)

使用箇所	材質／表面処理
本体(外装)	PC樹脂
ケーブル	TPE樹脂
プラグ	ニッケルメッキ

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ソフトバンクカスタマーサポート

■総合案内

ソフトバンク携帯電話から　157（無料）
一般電話から　0800-919-0157（無料）

■紛失・故障受付

ソフトバンク携帯電話から　113（無料）
一般電話から　0800-919-0113（無料）

IP電話などでフリーコールに繋がらない場合は、恐れ入りますが下記の番号へおかけください。

東日本地域	022-380-4380（有料）
東海地域	052-388-2002（有料）
関西地域	06-7669-0180（有料）
中国・四国・九州・沖縄地域	092-687-0010（有料）

スマートフォン テクニカルサポートセンター

スマートフォンの操作案内はこちら
ソフトバンク携帯電話から　151（無料）
一般電話から　0800-1700-151（無料）

ソフトバンクモバイル国際コールセンター

海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡
+81-3-5351-3491
（有料、ソフトバンク携帯電話からは無料）